

受賞作品が決まりました 第11回「海の香りのする詩」

海をテーマにした「海の香りのする詩」の受賞作品が決定しました。

市内から752点、市外（県内）からは691点の応募があり、回を重ねるごとに作品のレベルが上がる中、次のみなさんが入賞しました。

教育委員会生涯学習課 ☎1268



大賞に輝いた小崎君と上村さん

【市内小学生の部】 大賞 「ひじきとり」

小崎聡次郎（弘道小6）

相差の海へひじきとりに行っ
た
父ちゃんの船はあやつり人形
波のゆれにまかせてあっちへ

こつちへ

ばあちゃんはプロの手ぎわ
そうじきみたいひじきをす
いとる

ほくもまねしてもぎとるがば
あちゃんのようにはいかない
よ

水の中はツーンとアイスク
リームを食べたよう
ばあちゃんはいつも冷ぞつこ
の中で働いているんだなあ

こごえそうな海と冷たい風の
中ひじきを次々とそうじして
いく

ほくの海があなたかくなつた

ほくの手がそうじきになつた

ほくはひじきとりの名人だ

ばあちゃんと二人で次々と
その時バチャーン岩にすべっ
てずつこけた

海の神さまが調子にのるなと
言っている

海も風もほくを応援してくれ
る

がんばればなればとひじきも
言つた

入賞 「父さん 母さん」山下

真歩（答志小5）、「波と砂と僕
と」岩本拓也（加茂小5）、「子
どもみたいな夏の海」中村笑
香（答志小5）

奨励賞 「あらめパラダイス」

木下結衣（菅島小5）

【市内中学生の部】

大賞 「海を見た日」上村彩佳
（鳥羽東中3）、作品は3ペー
ジに掲載しました。

入賞 「海を目指して」亀谷瞳
（鳥羽東中2）、「四季の海」小
久保有紗（鳥羽東中3）、「僕の
友達」濱口静香（答志中3）

奨励賞 「海の色 時空の音」
西井海（鳥羽東中3）、「貴方は
知っているだろうか」野村智
美（加茂中3）

みなさんの作品は、受賞作
品集として編集し、配布する
予定です。

人権文化の 花を咲かせよう

Vol.68

1枚の表彰状から

賞状授与のために学校を訪
問する機会がありました。

表彰する生徒を待っている
間、校長先生がこんなお話を
されました。

「表彰状を渡す側は、校長で
あるわたしの名前が書いてあ
り、印が押してあるだけの紙
だと感じてしまいそうになる
ときもあります。

でも、それは違います。も
らう側のこどもたちにとって
は、頑張つてようやく手にす
ることが出来るものなのです。
だから、もらう側の立場に
立つて思いを込めて作ること
が大切です。

サイズは、大きい方がより

印象に残っているんですね。
相手を思いやること、人権
を考えることは、表彰状1枚
からできるのです。」

こどもが表彰されるときの
気持ちはどうでしょう。

受賞した子にとって、1枚
の表彰状が、かけがえのない
大切な物になるのです。同時
に励みになり、「また、頑張ろ
う」という気持ちにもつなが
ります。賞状をもらった喜び
は、ずっと心に残ることで
しょう。

こどもが表彰状をもらった
ら、まず褒めてやってください
い。また、受賞できなかった
こどもも、頑張つた過程を認
めて励ましてあげてくださ
い。

こどもを褒めたり励ますこ
とは、こどもの健やかな成長
には欠かせないことです。

表彰状1枚からでも、もら
う相手の立場に立つて考える
ことができます。ふとした事
柄でも、身近なところに人権
にかかわることはたくさんあ
るのです。

